

瀬戸学区まちづくり推進委員会

委員長 水野 敏彦

（問合せ先） 084-951-1003（瀬戸交流館）

事業内容

- （1）瀬戸小学校児童育成事業 （11月30日）
- （2）生涯学習活動事業
 - ①体験・人材育成 （12月11日・28日）
 - ②料理教室 （8月～2月）
- （3）人権啓発活動事業 平和学習（7月6日）
- （4）安心安全活動事業
 - ①自主防災活動 （11月17日）
 - ②避難行動要支援者の避難支援 （通年）
- （5）地域文化継承事業
 - ①史跡めぐり （3月5日）
 - ②とんど （1月11日）
- （6）地域活性化事業
 - ①町民納涼夏まつり盆踊り大会 （8月3日）
 - ②町民大運動会 （10月20日）
- （7）環境美化活動事業
 - ①町内美化清掃 （6月16日・12月1日）
 - ②花壇づくり （通年）
 - ③町内啓発 （通年）
- （8）コミュニティ育成事業 （通年）
- （9）健康づくり事業
 - ①第24回ふれあいグラウンドゴルフ大会 （11月9日）
 - ②健康ウォーキング大会 （1月15日）
 - ③団体交流大会 （3月1日）
- （10）情報紙発行事業 （通年）
- （11）人・まち・ふくしまルシェ2024 （11月10日）
- （12）まちづくり推進委員会運営 （通年）



【広島：平和学習】



【納涼夏まつり盆踊り大会】

成 果

- ・今年度は、新しく人権啓発活動事業を企画し、広島平和資料館や周辺の碑をめぐり、平和についての学習を深めることができた。
- ・いずれの事業も計画通り実施することができ、実施に向けては事務局会議を持ち、関係団体としっかりと打ち合わせを行い、スムーズな進捗ができた。
- ・推進委員を中心に各種団体役員、地域住民との交流も図ることができ、地域の課題解決や活性化を図るための意識を高めることができた。

課 題

- ・各種団体役員や地域住民に対して、まちづくり推進事業についての周知に努める必要がある。
- ・参加者についても固定化せず、幅広い年齢層の地域住民に参加してもらえるよう、今まで以上に広報活動に努める必要がある。

課題解決にむけて

- ・推進委員を中心に、各種団体役員をはじめ地域住民に対して、まちづくり推進事業の周知のため、会議での丁寧な説明や広報活動に努める。
- ・事業については、しっかりと内容を検討しながら、次年度へつなげていく。

家族で参加！日頃のつながりや支えあいが大事！

～備えあれば憂いなし～

11月17日（日）、『第10回瀬戸学区防災訓練』は、団体役員をはじめ町民280人近い参加者で実施することができました。

瀬戸町では、2016年と2018年に2度の土砂災害や水害が発生し、甚大な被害をもたらしました。自然の脅威に私たちは成す術がありませんが、災害に対する意識、避難の心構えや準備など、被害を少なくすることはできると思います。また、日頃からご近所や地域の方々とのつながりや支えあいも大切なことのひとつです。そういった意味で、今回の訓練も大事になってきます。

コロナ禍においては、思うような全体訓練ができませんでしたが、今回は7回目の訓練をもとに、町内と団体からの参加者を3つのグループに分けて、同時に訓練ができ、時間を持て余すことがないように工夫しました。当日は、瀬戸小学校へ8時50分集合、9時開会式から

11時5分閉会式まで、有意義な取組ができました。

訓練

- ①避難者集合と報告・開会式
- ②消火器等による初期消火訓練
- ③土のう作り訓練
- ④応急救護訓練（AED 操作・心肺蘇生法）
- ⑤避難場所設営訓練（避難者受付・段ボールベッド組立・片づけほか）
- ⑥災害備蓄品の調理訓練
- ⑦閉会式 アンケート記入

家庭内での天ぷら火災の実演は、実際に濡れたタオルをかける体験をする、AED 操作については時間的に全員体験ができなかったのは残念という声がありました。

段ボールベッドは、意外にしっかりとて段ボールが強いことや土のう作りは工夫次第で早く作れることがわかり、非常食についても興味深く調理や試食ができました。見るだけでなく、できるだけ多くの方に参加・体験してもらえ

よう、今後の課題もみえたきたように思います。

これからも町民同士の助けあいやつながりを深めていきたいと思っています。



【消火器による初期消火訓練】



【AED 操作 & 心肺蘇生法】



【土のう作り訓練】



【段ボールベッドの組立ほか】



【災害備蓄品の調理・試食】